

日本テレマン協会

2010年度 社会的活動報告

～社会と対話する演奏会を目指して…～

The marriage of social and cultural application



TELEMANN INSTITUTE JAPAN



近畿1400万人の命を支える琵琶湖の水。この冊子は水質浄化するために刈り取られた「西の湖」の葦(よし)を使用しています。この冊子一冊で琵琶湖の水、約400リットルが浄化されたこととなります。

～社会と対話する演奏会を目指して…～

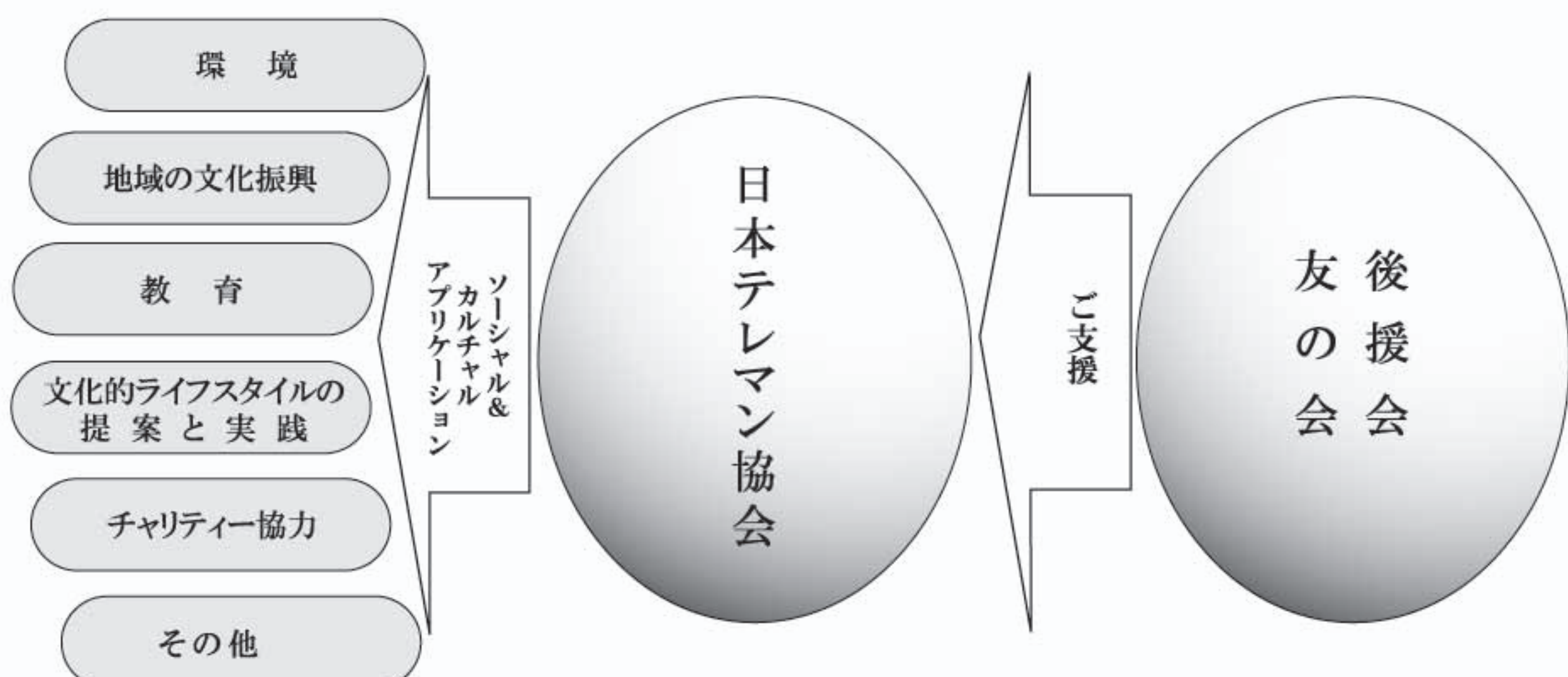
日本テレマン協会のめざすソーシャル&カルチャル・アプリケーション

日本テレマン協会は常に最新の試みと、新しい価値観の創造をめざす文化活動を続けてきました。財界サロンなどを舞台にした室内楽、教会聖堂での宗教音楽の演奏会にはじまり、ベートーヴェンのテンポ指示を忠実に守った「100人の第九」(世界初の試み)、バロック楽器やクラシカル楽器による演奏、数々の本邦初演、そしてベッドタウンでのコンサート、字幕・トーク付きコンサート、講談とのコラボレーション…などその試みのバリエーションの広さは他の追随を許していません。またそのほとんどが日本初の試みであり、後に他の団体の活動に大きな影響を与えてきたことは皆さんも良くご存じのことと思われま

す。こういった活動の根底には「より幅広い聴衆に音楽の楽しさを知ってもらいたい」という思いがあり、その思いは創設以来48年以上たった現在でも受け継がれ、さらに進化しつつあるといえましょう。特に協会は今、文化の団体が「社会に対して出来ること」、「国の繁栄に貢献出来ること」…演奏会を通して聴衆だけではなく、広くその市民、そして社会そのものとどうすれば対話出来るのかを追求しようと考えております。しかしそれは一方で「営業」という視点から離れた場合も少なくはありません。そういった研究と実践を重ね活動を続けていけるのは、我々の活動に対し深く理解して下さる支援団体があるからに他なりません。

そこで今年度も冊子の形で、ご支援下さった皆様に我々の社会的な活動＝「ソーシャル & カルチャル・アプリケーション」についてご報告させて頂くことに致しました。この冊子が皆様のより一層のご理解を深め、未永いご支援を頂ける「パスポート」となることを願ってやみません。

日本テレマン協会
日本テレマン協会後援会



◎2010年度における協会の活動を支えてくださった皆様

・日本テレマン協会後援会

会 長	野 村 明 雄	(大阪ガス株式会社 相談役)
副 会 長	浦 上 敏 臣	(住友生命保険株式会社 相談役)
	渡 辺 克 信	(朝日放送株式会社 代表取締役社長)
理 事	鍛 冶 舎 巧	(パナソニック株式会社 常務役員)
	原 真 一	(コーナン建設株式会社 代表取締役社長)
	藤 田 隆	(大阪音楽大学 教授)
	宮 島 登 美 子	(TMS代表)
	小 野 敏 夫	(NPO法人クラシック音楽興隆会 理事長)
	砂 野 耕 一	(川崎重工株式会社 社友)
	室 町 鐘 緒	(株式会社三菱東京UFJ銀行 名誉顧問)
	山 口 昌 紀	(近畿日本鉄道株式会社 取締役会長)
	和 田 馨	(関西電力株式会社 執行役員)
	井 上 礼 之	(ダイキン工業株式会社 取締役会長兼CEO)
	森 川 敏 雄	(株式会社三井住友銀行 特別顧問)
	佐 野 吉 彦	(安井建築設計事務所 代表取締役社長)
	羅 辰 雄	(株式会社蓬莱 代表取締役社長)
	入 谷 泰 生	(日本クルーズ客船株式会社 代表取締役社長)
	鳥 井 信 吾	(サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副社長)
	吉 田 有 宏	(千寿製薬株式会社 代表取締役社長)
	杉 浦 正	(共和コーポレーション株式会社 代表取締役)
専務理事	中 原 博 人	(日本テレマン協会)
常務理事	後 久 義 昭	(日本テレマン協会)
顧 問	井 戸 敏 三	(兵庫県知事)
	荒 井 正 吾	(奈良県知事)
	平 松 邦 夫	(大阪市長)
	矢 田 立 郎	(神戸市長)
	アレクサンダー・オルブリッヒ	(ドイツ総領事)
	マーケ・ウェベルズ	(アメリカ副領事)
	クリス・スチュワート	(イギリス総領事)
	フィリップ・ジャンヴィエ・カミヤマ	(フランス総領事)
	マルガリータ・ボット	(オランダ総領事)
	プロホロフ・イワン	(ロシア総領事)
	ダビデ・ジリオ	(イタリア総領事)
	D.v. エークハウト	(ベルギー総領事)
	金 碩 基	(駐大阪大韓民国総領事)
	小 松 左 京	(作家)
	陳 舜 臣	(作家)
	多 川 俊 映	(興福寺貫首)
	鶴 沢 寛 治	(人間国宝 三味線奏者)
	ロニー・アレキサンダー	(神戸大学大学院教授)
	池 長 潤	(カトリック大阪教区大司教)
監 事	稲 畑 勝 雄	(稲畑産業 取締役 相談役)
	陳 英 智	(三洋実業)
後援会事務局長代行	木 村 正 秀	(日本テレマン協会)

法人会員

サントリーホールディングス(株)	日本生命保険相互会社	(株)きんでん
住友生命保険相互会社	(株)損害保険ジャパン	(株)読売連合広告社
朝日放送(株)	情報技術開発(株)	矢崎総業(株)大阪支店
パナソニック(株)	東京海上日動火災保険(株)	千寿製薬(株)
ダイキン工業(株)	(学)からたち幼稚園	三幸メイヤス(株)
(株)三菱東京UFJ銀行	日本郵船(株)	三菱電機(株)関西支社
(株)三井住友銀行	新コスモス電機(株)	(医)中野クリニック
ロックペイント(株)	読売テレビ放送(株)	(株)カネカ
(医)友仁会浅井整形外科	愛知時計電機(株)大阪支社	(有)神戸楽譜
関西電力(株)	(株)博報堂関西支社	JFEスチール(株)
大阪ガス(株)	(株)IHI関西支社	桜宮ゴルフクラブ(株)
(株)竹中工務店	(株)大広	阪急電鉄(株)
稲畑産業(株)	UCC上島珈琲(株)	京阪電気鉄道(株)
(株)大林組	中井エンジニアリング(株)	江崎グリコ(株)
(株)武田薬品工業	関西テレビ放送(株)	(株)共和コーポレーション
近畿日本鉄道(株)	(株)ロイヤルホテル	(株)藤田商会
(株)丹陽商会	今津建設(株)	(株)アークエース
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	大阪ターミナルビル(株)	山名酒造
ユーナン建設(株)	JFEエンジニアリング(株)	三洋電機(株)
(株)大丸松坂屋百貨店	(株)エンポウ	パナソニック電工(株)

東京法人会員

エフエックスコーポレーション(株)	大阪ガス(株)東京支社	東邦ガス(株)
東京ガス(株)	西部ガス(株)東京事務所	

休会

ムジカティ	テレビ大阪(株)	((株)エムアンドエムサービス
(株)ニロ印刷	タクマ	(株)そな銀行

個人会員

岡本 武雄	三葉 民雄	上田 譲
小西 信一郎	高田 満國	藤田 興二
北山 靖子	高橋 香	岩田 由孝
塩田 邦博	松本 好史	和久 公子
阿部 牧郎	ロニー・アレキサンダー	宮本 一
藤田 直照	田中 久善	里見 悦子
川岸 弘賢	延 秀恵	直田 春夫
小島 百合子	延 敏恵	大西 國忠
小川 寛	平田 キヨ	山本 三千代
黒川 悦子	浜辺 正昭	石村 孝夫
高 仁宝	大西 淑子	中村 祥大
北浦 告三	越田 重雄	重森 哲二
浅沼 健一	中窪 菜穂子	堀則 明
廣川 信一	竹澤 代資一	山田 信吾
橋本 公宏	三好 具子	長濱 一郎
羅 辰雄	安達 政恭	吉田 朋代
南 茂夫	吉田 好道	信楽 義彦
久保井 潔	矢野 勝之	薄井 一美
三木 邦夫	米沢 康	浜野 りさ
西川 賢	杉浦 正	有賀 熙雄
小林 誠	中川 淳一	
横川 忍	野村 明雄	

東京個人会員

小野 敏夫	堀田 美喜	山下 和夫
田中 佐代	伊藤 俊久	藤島 ひろ美
中島 久仁子	石井 ふみ子	木下 弘子
小野 久恵	木下 新九郎	有蘭 延子

< 敬称略・順不同 >

2010 年度版

日本テレマン協会 社会的活動報告

The marriage of social and cultural application

CONTENTS

1：環境

- 1-1 琵琶湖水質浄化の紙（=レイクパピルス）の使用・・・・・・・・・・7
- 1-2 サラヤ株式会社との協働による「ボルネオの環境保全活動」とその変更・・・・8

2：地域の文化振興

- 2-1 講談と室内楽によるコラボレーション「音楽絵巻」・・・・・・・・・・9
- 2-2 うえまちコンサート・・・・・・・・・・12
- 2-3 平野区の「第九」・・・・・・・・・・12
- 2-4 伊丹の酒蔵コンサート・・・・・・・・・・12

3：教育

- 3-1 日本テレマン協会の学校公演・・・・・・・・・・13
- 3-2 大阪市ユースオーケストラの指導・育成・・・・・・・・・・15
- 3-3 アマチュア団体の指導・育成・・・・・・・・・・15

4：文化的ライフスタイルの提案と実践

- 4-1 いずみホールエリアの活性化モデルと淀屋橋 WEST の情報発信・・・・・・・・16
- 4-2 大大阪レトロナイト事業としての活動・・・・・・・・・・17
- 4-3 海外アーティストの紹介・・・・・・・・・・18
- 4-4 アバンザ・ランチタイムコンサート・・・・・・・・・・18

5：チャリティー協力

- 日本テレマン協会とチャリティー・・・・・・・・・・19

1：環境

1-1 琵琶湖水質浄化の紙（＝レイクパピルス）の使用

2000年より日本テレマン協会では、主な主催公演のチラシ、プログラムに琵琶湖の水質浄化を目的とする紙「レイクパピルス」を使用してきた。2000年当初はその企画が新聞・ラジオ・テレビで大きく取り上げられ、「環境」などをテーマに社会貢献という姿勢をいち早く示した演奏団体として、挙手することに成功した。



(参考：2000年4月26日 朝日新聞)

2010年度におけるレイクパピルスの使用は以下の通りである。

1：プログラムの使用

- ・一部につき 400 リットルの浄化
- ・今年度はマンスリーコンサートに 9 回、定期演奏会に 2 回、東京定期演奏会に 3 回、その他に 1 回使用
- ・合計 5,100 部作成
- ・2,040,000 リットル (2,040 トン) を浄化

2：チラシの使用

- ・一部につき 200 リットルの浄化
- ・今年度はマンスリーコンサートに 6 回と教会音楽シリーズに 3 回
- ・合計 2,500 部 × 6 + 3,000 部 × 2 作成
- ・合計 4,200,000 リットル (4,200 トン) を浄化

3：その他印刷物

1 「2009 年度社会的活動報告」冊子の表紙

- ・一部につき 200 リットルの浄化
- ・450 部印刷
- ・合計 90,000 リットル (90 トン)

2 代表交代の挨拶状

- ・一部につき 200 リットルの浄化
- ・1,200 部印刷
- ・合計 240,000 リットル (240 トン)

4：2010 年度に浄化した総計

- ・6,570 トン

合計で 6,570 トンの水を浄化したという計算になる。さらに他団体への呼び掛けも進んでおり、今年度より大阪市ユースオーケストラでもレイクパピルスが積極的に使われるようになった。ユースオーケストラからの報告による 2010 年度の使用状況は以下の通りである。

チラシの使用

- ・一部につき 200 リットルの浄化
- ・1,500 部印刷
- ・合計 300,000 リットル (300 トン)

1-2 サラヤ株式会社との協働による「ボルネオの環境保全活動」とその変更

【当初の計画について】

2011年度よりサラヤ株式会社との協働により、マレーシア・ボルネオ島の熱帯雨林保全などを含めた「環境保全プロジェクト」に着手することを計画していた。計画の具体的な内容は年間6回の定期演奏会（大阪2回／東京4回）のチケット収入の1パーセントを、ボルネオの環境保全などに還元するというもの。その意図するところは代表の中野順哉による以下の提唱に基づいている。

「私たちは大阪の団体である以前にアジアの団体であり、また我々の日常はアジアの自然によって支えられている。演奏活動もそういった日常の上に成り立っているのであれば、そこから得た収入の一部を原点の保護にかえすべきではないか。2011年からの新機軸として『アジア・東洋の演奏団体』であることを、演奏を通して認識し直すような活動をしたい」

ただ、日本テレマン協会は「ボルネオの環境問題」についてその現状を直接見聞きした者は無く、現地で何が大切なのかを正確に理解しているとは言い難い。そこでその分野での活動経験の長いサラヤ株式会社に「年間6回の定期演奏会のチケット収入の1パーセント」をお預けして、今一番大事だと思われる活動への支援にあてていただくこととなった。

ただ最初は「プランテーション化を防ぐ上での土地の取得に特化していただくことは出来ないだろうか」というテレマン協会からのリクエストもあり、それを受けた形で「ボルネオ保全トラスト※1」がおこなう「緑の回廊※2」計画への支援という形になった。2010年度の寄付額は10万円。200円一口で畳一畳分の森を買い取るというトラストの活動に則った言い方を借りれば、500畳の森を保全したことになる。

テレマン協会が「最初は土地の取得で」ということに固執した理由は、大きく二つある。一つは野生の動植物と人間の共存には、「緑の回廊」の早急な実現が必要であると判断したこと。もう一つの理由は協会会長の延原がこよなくオランウータンを愛しているということも。

こういったもろもろの協会側の思いを、サラヤ株式会社は快く引き受け今回の協働が成立した。初年度はまずボルネオの森だが、その後様々な展開へと結び付けていきたいと両者は考えている。文化の団体と企業と一緒に「未来のためにできること、そして継続できること」「本当の文化的生活」の意味を演奏者・お客様とともに考えていければ、と思っている。

【変更について】

上記の「計画」は3月11日に発生した東日本大震災により、2010年度の寄付予定だった10万円は2011年4月に赤十字社を通し震災義援金として寄付された。2011年度については、支援先のボルネオ保全トラストが募金の一部を「ジャパン・プラットフォーム」に寄付することを表明したことを受け、予定通りこの協働企画が実行されることになった。

※1 「ボルネオ保全トラスト」とは

ボルネオ保全トラストは、マレーシア・サバ州政府認可の環境保全団体です。野生生物局の関係者や生物学者、環境団体およびサラヤ㈱らによって設立され、傷ついた野生動物の救出活動のほか、生態調査や生息域となる「緑の回廊」実現に取り組んでいます。

日本窓口：ボルネオ保全トラスト ジャパン www.betj.jp



※2 「緑の回廊」計画とは

アブラヤシ・プランテーション（農園）の無秩序な拡大による熱帯雨林の減少は、野生の動植物の生存危機だけでなく、動物と人間の間摩擦を生み様々なトラブルを引き起こしています。そこでボルネオ保全トラストでは、野生の動植物の生存に最低限必要とされる川沿岸の開墾地を買い戻して森に再生し、プランテーションによって分断されてしまった森をつないで一つの大きな森「緑の回廊」にする計画に取り組んでいます。

「緑の回廊」が実現すれば、動物たちの食糧や繁殖機会の確保につながり絶滅危機を回避することができるだけでなく、動物の生息域と農業用地の両立という「環境と産業の両立」が実現できると考えられています。

2：地域の文化振興

2-1 講談と室内楽によるコラボレーション「音楽絵巻」

地域の郷土史家などに直接取材をし、それを創作台本にして音楽をおりませる「音楽絵巻」という企画。主に講談などの日本の古典芸能と室内楽が共演。郷土史を見直し、地域住民とともに新たな発見をめざす完全なオーダーメイドのコンサートである。



(参考：2010年7月大阪春秋対談記事：冒頭)

この企画がスタートしたのは2002年だが、その後各地における認知度も高くなり、2010年度にも例年並みのオファーがあった。昨年同様市町村合併などにより「地域色」そのものが混沌とした状態にあるというケースもあったが、2010年度は奈良遷都1300年に関連した内容のものもあり、「郷土色」発見という方向以外に、県単位でのアピールにもこの公演の企画が利用される傾向が年々強くなってきていると言える。またもっとも印象的であったのがドイツ文化センター主催による公演だった。大阪ドイツ文化センターの所長ミヒャエル・シュレーン氏が「これこそ日独交流150周年の記念公演にふさわしい内容だ」と絶賛され、「ドイツの古典」=テレマン、バッハ、ヘンデルの作品と「日本の古典」=井原西鶴、松尾芭蕉、近松門左衛門を題材にした上方講談とのコラボレーションを企画。さらにドイツからパントマイムのトム・カース氏を招いて、「音楽絵巻」に新たな共演の可能性を提案。「音楽絵巻」がより良い国際交流を実現するという結果を生みだした。ただ2010年度は毎年連動する傾向が強いNHK大河ドラマとの関連公演は皆無であったのも特徴的だった。

またこれらの台本はすべて著作権をフリーとしており、二次利用、三次利用にバリアをもうけにくくしている。結果公演当日に冊子を配布するなど、地域に「創作の魅力」を形として残すことに成功している。学校の副読本や旅の紹介など、その利用は今後さらに発展していくと思われる。

2010年度の公演詳細は以下の通りである。

(2010年度「音楽絵巻」実績)

- ・2010年 6月 大和高田さざんかホール：奈良：音楽絵巻「真・役小角伝」
- ・2010年 7月 兵庫県立芸術文化センター主催：兵庫：「キャンディード」プレ
- ・2010年 9月 伊賀県民局エントランス：三重：音楽絵巻「伊賀の乱」
- ・2010年10月 伊賀県民局エントランス：三重：音楽絵巻「藤堂高虎」
- ・2010年11月 伊賀県民局エントランス：三重：音楽絵巻「藤堂高吉」
- ・2010年11月 りそな銀行大阪本店地下講堂（ドイツ文化センター主催）：大阪：音楽絵巻「恋模様刀の旅路」
- ・2010年12月 多気町民文化会館：三重：音楽絵巻「二人の客人（まろうど）」

(参考：講談・朗読コラボレーション公演及び地域活性化講談公演これまでの履歴)



- ・2002年 3月 安土文芸セミナリオ：滋賀：音楽絵巻「信長の聴いた音楽」
- ・2002年 5月 神戸新聞松方ホール：兵庫：「メサイア」（日本テレマン協会公演）
- ・2002年 6月 大阪電気通信大学特別講座：大阪：講談「ヘンデル一代記」
- ・2002年 6月 高槻現代芸術劇場：大阪：音楽絵巻「ヘンデル一代記」
- ・2002年 8月 石川県立音楽堂：石川：音楽絵巻「利家の聴いた音楽」
- ・2002年11月 尼崎市民文化会館：兵庫：講談「国姓爺合戦」
- ・2002年11月 丹波国際音楽祭企画：兵庫：講談「走れメロス」「魔王」
- ・2003年 2月 柏原高等学校：兵庫：講談「おさん茂兵衛」
- ・2003年 3月 鳳鳴高等学校：兵庫：講談「おさん茂兵衛」
- ・2003年 6月 貝塚市民文化会館コスモシアター：大阪：「モーツァルト VS ベートーヴェン」
- ・2003年 7月 大阪電気通信大学特別講座：大阪：講談「ヴィヴァルディー代記」
- ・2003年 7月 新宮市民会館：和歌山：音楽絵巻「西村伊作」
- ・2003年11月 秋篠音楽堂：奈良：クララ・シューマンによる「ショパンとリスト」
- ・2004年 4月 神戸市立葺合高等学校：兵庫：講談付き学校公演
- ・2004年 5月 大阪電気通信大学特別講座：大阪：講談「バッハ一代記」
- ・2004年 7月 大阪倶楽部：大阪：大阪新音企画・音楽絵巻「近代文学散歩」
- ・2004年 9月 神戸新聞松方ホール：兵庫：音楽絵巻「アマデウス」
- ・2004年10月 熊野市民会館：三重：音楽絵巻「源平盛衰記」熊野古道編
- ・2004年10月 湖東町（現東近江市）：滋賀：音楽絵巻「湖東商人銘々伝」
- ・2004年11月 姫路東中学校：兵庫：講談付き学校公演
- ・2004年11月 東京国立博物館：東京：音楽絵巻「森鷗外」
- ・2004年12月 播磨町教育委員会：兵庫：音楽絵巻「漂泊」（講談「ジョセフ彦」）
- ・2004年12月 住吉区：大阪：音楽絵巻「熊野街道」
- ・2005年 1月 日本郵船「飛鳥」オセアニアクルーズ：音楽絵巻「漂泊」ほか
- ・2005年 2月 近江八幡市民会館：滋賀：音楽絵巻「心に華開く時」山田良定
- ・2005年 2月 大和高田さざんかホール：奈良：音楽絵巻「義経の七つ石」
- ・2005年 4月 伊賀上野市民会館：三重：音楽絵巻「荒木又右衛門」
- ・2005年 5月 大江山町：京都：世界鬼学会講演・講談「大江山異聞」
- ・2005年 9月 高知県グリーンホール：高知：音楽絵巻「山内一豊」土佐編
- ・2005年11月 東京国立博物館：東京：葛飾北斎展企画・「真曾我兄弟」ほか2話
- ・2006年 1月 山東町ルッチプラザ：滋賀：音楽絵巻「石田三成」
- ・2006年 3月 小野市うるおい交流館エクラ：兵庫：音楽絵巻「長祿の変」
- ・2006年 7月 金光八尾高等学校：大阪：講談付き学校公演
- ・2006年 7月 三鷹市風のホール：東京：音楽絵巻「新・功名が辻」
- ・2006年 7月 掛川市シーネ：静岡：音楽絵巻「山内一豊」掛川編
- ・2006年 7月 日本郵船「飛鳥II」カムチャツカクルーズ：音楽絵巻「ある日の大黒屋光太夫」
- ・2006年 9月 大阪市役所：大阪：音楽絵巻「モーツァルト」
- ・2006年10月 羽曳野市リックはびきの：大阪：音楽絵巻「源氏三代記異聞」
- ・2006年10月 東郷町：愛知：音楽絵巻「とうごう六景」
- ・2006年10月 名張市青少年センター：三重：音楽絵巻「藤堂高吉公一代記」

- ・2007年 2月 NECマイタウンコンサート：福岡：九州交響楽団共演
- ・2007年 4月 横須賀芸術劇場：神奈川：音楽絵巻「三浦一族記異聞」
- ・2007年 9月 びわこビクターズビューロー（開催地は神奈川県民ホール）：神奈川：音楽絵巻「信長が愛した音楽」
- ・2007年 9月 大東市サーティーホール：大阪：音楽絵巻「ぶらり大東今むかし」
- ・2007年 9月 伊丹ホール：兵庫：宝塚西高等学校音楽鑑賞会
- ・2007年11月 三田市総合文化センター：兵庫：三田西陵高等学校音楽鑑賞会
- ・2007年11月 天理南中学校：奈良：文化祭イベント
- ・2008年 3月 小野市うるおい交流館エクラ：兵庫：音楽絵巻「加古川筋一揆」
- ・2008年 5月 安土文芸セミナリオ：滋賀：音楽絵巻「信長が愛した音楽」
- ・2008年 6月 神河町グリンデルホール：兵庫：神河音楽絵巻「銀の馬車道今むかし」
- ・2008年10月 伊賀上野城天守閣：三重：音楽絵巻「藤堂高虎」
- ・2008年10月 彦根観光協会（会場は彦根城博物館 能舞台）：滋賀：彦根音楽絵巻「開国物語 井伊直弼外伝」
- ・2008年10月 大阪商工会議所（会場はフジハラビル）：大阪：音楽絵巻「フジハラビル物語」
- ・2008年10月 守山市民ホール：滋賀：守山音楽絵巻「人ゆえに、愛ゆえに…」
- ・2009年 1月 松江市総合文化センタープラバホール：島根：音楽絵巻「松江城今昔秘話」
- ・2009年 2月 びわこビクターズビューロー（開催地は江戸東京博物館）：東京：ひこにゃんのでてく「歴史街道」
- ・2009年 2月 日本郵船「飛鳥II」南太平洋グランドクルーズ：音楽絵巻「大江山奇談。鬼の道に、横道なし」
- ・2009年 3月 丹波の森公苑ホール：兵庫：創作講談と音楽のコラボレーション「恋路の丹波刀旅」
- ・2009年 6月 有馬・念仏寺：兵庫：講談と室内楽公演「小さな島国のオルガン」
- ・2009年 7月 大津市民会館：滋賀：音楽絵巻「淡海街道物語」
- ・2009年10月 近江八幡市立資料館：滋賀：音楽絵巻「一柳満喜子伝」
- ・2009年10月 伊賀上野：三重：講談ウォーク「筒井定次」「藤堂高虎」ほか

2009年10月 伊賀市 講談ウォークの様子

「音楽絵巻」から派生した取り組み。創作講談によって新たな街の魅力の発見や青少年への伝承などを企画した。



地域の高校生らに講談の題材となった話を伝え、そこからイメージした「書」を書いてもらった。



キャラクターと共に街を歩く。



多くの参加者が講談に耳を傾ける。

2-2 うえまちコンサート

NPO法人まち・すまいづくりは「住んで楽しいまちづくり」をテーマにコーポラティブ住宅の推進と、市民参加のセミナーなどの開催を手掛けている団体。活動の本拠は上町台地周辺地域で、地域密着型の情報伝達媒体となる『うえまち』も発行している。

そして更なる魅力あるまちづくりの促進を求めて、まち・すまいづくりは2008年よりタウンコンサートを始めた。「うえまちコンサート」と題されたこのシリーズは、会場を上町台地にある様々な「集いの場」にしているのが特徴。ホテルのチャペル、神社、寺、博物館…。日本テレマン協会のヴァイオリン奏者・中山裕一が第1回公演より出演。第3回公演より協会としても正式に「協力」という形で参加することになった。

2010年度の「うえまち」コンサートでは、演奏会が10回目を突破したことを記念し、「うえまち古楽フェスティバル」が開催された。サイモン・スタンディジや中野振一郎らの助けを得、街角コンサートでありながらクオリティーの高い内容を提供することで地域の文化的な意識を高めようというのが狙いだった。集客状況やアンケート結果を見る上では、その目的は十分果たされたものと思われる。2011年度からは音楽的コンセプトを更に高度なものとし、そこに地域色を加味してゆくという方向でコンサートが継続されてゆく予定。

【2010年度の公演】

第9回うえまちコンサート in 玉造稲荷神社

2010年4月11日 ～春景色 with 木管五重奏～

会場：玉造稲荷神社 参集殿

うえまちコンサート10回達成記念企画「うえまち古楽フェスティバル」

～バロックヴァイオリン3回連続公演～

2010年7月24日 第1回“博物館でバロックを！”

会場：大阪歴史博物館 4階 講堂

2010年10月23日 第2回“阿弥陀様と楽しむバロック”

会場：一心寺 三千佛堂

2011年1月23日 第3回“能舞台でバロック”

会場：山本能楽堂

2-3 平野区の「第九」

2000年より一般市民の希望者を公募し合唱団をつくり、「五カ年計画」でベートーヴェン作曲の交響曲第9番を指導。毎年達成したところまでを発表し、5年後には最後まで歌えるようにするという、直接的に「地域の文化意識の向上」を実現させようという企画。すでに最初の「五カ年計画」は達成され、その結果に対する市民の喜びは大きく、2006年度より第二次の「五カ年計画」が継続されている。

2010年度の公演は12月15日にコミュニティプラザ平野にて開催され、好評のうちに終わった。

2-4 伊丹の酒蔵コンサート

伊丹市文化振興財団では「みやのまえ文化の郷」の活性化やPRに積極的に取り組んでいる。日本テレマン協会も以前は「いたみホール」を舞台に、サロンコンサートの開催協力をしてきたが、2007年よりこの町の活性化企画に参加することに。会場は旧岡田家の酒蔵。毎回満員御礼で秋の名物となりつつある。

2010年度はヴィヴァルディの「四季」全曲をテレマン室内オーケストラのソロコンサートミストレス 浅井咲乃が好演した。

2010年9月26日 テレマンのバロック音楽の宴 vol.17

芽吹き、咲き、そして散る… ヴィヴァルディ「四季」、酒蔵にて

会場：みやのまえ文化の郷 伊丹市立伊丹郷町館 旧岡田家住宅・酒蔵

出演：指揮／延原武春

ヴァイオリン／浅井咲乃

テレマン室内オーケストラ

3：教育

3-1 日本テレマン協会の学校公演

日本テレマン協会は発足以来「子供向け」ではなく「子供のための」を基本コンセプトに各地で学校公演を開催してきた。「クラシック音楽の魅力を日本の文化として定着させる」という目的意識を強くもつ団体だけに、そこから派生していった現象も多い。例えばリコーダーの魅力を生徒たちに知らせようと工夫した「野菜笛」。そしてそこをヒントに生まれた神谷徹の「ストロー笛」は、いまや「ストローおじさん」のショーとして全国の子供に愛されている。その原点ともいえるのが「テレマンの学校公演」であり、現在もその空気を保ちつつ、ヴィヴァルディ「四季」、パッヘルベル「カノン」などの名曲を披露している。こういった公演を聞き、実際に演奏家を志す生徒も生まれている。楽団前主任の上塚憲一などはその一例であるといえる。

また最近では講談によって音楽家像を描き、音からだけではなく、知識から音楽に親しんでもらおうという試みも実施。今年度も複数の学校で公演した。

※その歴史や実態についてはNEC発行のレクチャーレポート NEC EARLY MUSIC LECTURE Vol.16「バロック入門と教育」に詳しく書かれている。

2010年度の学校公演は以下の通り。2010年度の学校公演の大半は文化庁の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」に参加した結果である。また昨年同様豊岡市の小学校は少数のメンバー（1～2名）による公演。今年度の豊岡市に関してはオーボエ奏者・松本剛による演奏。

【2010年度に出演した学校公演】

5月24日	神戸市立若草小学校（県民芸術劇場）	10月18日	枚方市立西長尾小学校（文化庁）
5月28日	奈良県立奈良高等学校芸術鑑賞会	10月18日	枚方市立樟葉小学校（文化庁）
5月31日	八尾市立高美小学校	10月19日	明石市立大久保中学校
6月9日	豊岡市立高橋小学校	10月20日	豊岡市立五荘小学校
6月9日	豊岡市立寺坂小学校	10月20日	豊岡市立中竹野小学校
6月10日	豊岡市立小野小学校	10月21日	豊岡市立三江小学校
6月10日	豊岡市立豊岡小学校	10月21日	豊岡市立田鶴野小学校
6月11日	神戸市立有野台小学校（県民芸術劇場）	10月25日	桜井市立織田小学校（文化庁）
6月14日	神戸市立西舞子小学校（県民芸術劇場）	10月25日	田原本町立北中学校（文化庁）
6月16日	八尾中学校	10月26日	大谷中学校・高等学校
6月16日	豊岡市立新田小学校	10月27日	和歌山市立野崎西小学校（文化庁）
6月16日	豊岡市立八条小学校	10月28日	有田川町立金屋中学校（文化庁）
6月17日	豊岡市立資母小学校	10月28日	豊岡市立港東小学校
6月17日	豊岡市立神美小学校	10月28日	豊岡市立八代小学校
6月23日	豊岡市立中筋小学校	10月29日	田辺市立鮎川小学校（文化庁）
6月23日	豊岡市立小阪小学校	10月29日	豊岡市立竹野南小学校
6月24日	豊岡市立合橋小学校	10月29日	豊岡市立府中小学校
6月24日	神戸市立神出小学校（県民芸術劇場）	11月1日	三郷町立三郷小学校（文化庁）
6月24日	神戸市立若草小学校（県民芸術劇場）	11月1日	天理市立朝和小学校（文化庁）
6月28日	高砂市立北浜小学校（県民芸術劇場）	11月8日	鳥取市立桜が丘中学校
7月5日	小野市立小野小学校（県民芸術劇場）	11月12日	三木市立みなぎ台小学校（文化庁）
7月8日	神戸市立小部東小学校（県民芸術劇場）	11月15日	滋賀県立草津養護学校（文化庁）
7月15日	兵庫県立宝塚西高等学校（県民芸術劇場）	11月15日	東近江市立五個荘中学校
10月4日	和泉市立国府小学校（文化庁）	11月17日	津田学園小学校（文化庁）
10月4日	堺市立原山台小学校（文化庁）	11月18日	伊勢市立有緝小学校（文化庁）
10月7日	大阪市立喜連東小学校（文化庁）	11月19日	熊野市立木本小学校（文化庁）
10月7日	泉大津市立穴師小学校（文化庁）	11月21日	南あわじ市立賀集小学校（文化庁）
10月7日	豊岡市立奈佐小学校	11月22日	奈良学園小学校・奈良学園登美ヶ丘中学校
10月7日	豊岡市立港西小学校		
10月8日	赤穂郡上郡町立野里小学校（文化庁）	2011年	
10月8日	豊岡市立日高小学校	3月3日	千里グレース幼稚園
10月8日	豊岡市立子育て総合センター	3月22日	天理市立天理南中学校

【文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業」での様子】



合唱による生徒との共演。あらかじめワークショップにてメンバーが合唱を指導している。



ストロー笛の演奏。主に低学年に人気のコーナー。



生徒会会長からの挨拶。



メンバーと生徒たちの交流。

【参考：これまでの教育的活動】

日本テレマン協会の学校公演のあゆみの中で特筆すべき公演としては以下の三つが挙げられる。

1. 生徒の参加する演奏会

- ・ 中学校の生徒全員で第九を歌って卒業するという公演。
- ・ 学生の中でピアノの上手な人をソリストに迎えて協奏曲を演奏するという公演
- ・ ステージにリコーダーを吹く生徒を何人か並べて演奏 など

2. 「不登校児童」のための演奏会

- ・ 精神的に学校に行けない、いわゆる「不登校児童」のための学校公演

3. 重度の障害をもつ子供のための演奏会

- ・ 重度の障害をもった子供を専門にしている歯科医・西田百代氏が主催。「なかなか引っ込みがちな障害者ですが、そんな彼らに、あるいはその保護者の方々に、年に一度はホテルの高級ディナーを、音楽とともに楽しんでほしい」…そんな発想で始まった会。会場は大阪市内の有名ホテル。15年継続し2003年に活動は終了。

3-2 大阪市ユースオーケストラの指導・育成

延原武春は 1980 年代よりゲルハルト・ボッセらとともに大阪市ユースオーケストラの団体・奏者の育成に従事し、これまでに漆原啓子やテレマン室内オーケストラの前コンサートマスターの中山裕一など多くの演奏家を輩出してきた。2010 年からは団員の自主性の育成や、音楽を通してのコミュニケーションを図るために室内楽にも取り組み始めた。現在でも延原のほか、テレマン室内オーケストラの奏者による指導・教育は継続されている。

さらに 2010 年からは社会的貢献も視野に入れ、レイクパピルスの使用も開始した。

【2010 年度の活動】

2010 年 10 月 3 日 大阪市ユースオーケストラ 第 40 回定期演奏会

会場：大阪市立子ども文化センター

出演：指揮／中山裕一

フルート独奏／湊さやか・平岩あずさ

大阪市ユースオーケストラ

曲目：A. ヴィヴァルディ／2つのフルートのための協奏曲 ハ長調

L. v. ベートーヴェン／交響曲第 2 番 ニ長調 作品 36 ほか

3-3 アマチュア団体の指導・育成

フィルハーモニア福岡

2000 年夏に福岡市内の大学オーケストラ出身者が結成したアマチュア管弦楽団。延原武春はその結成当初より指導・育成に当たっている。現在は参加者も増え約 50 名が在籍。年二回のペースで定期演奏会を続けている。

【2010 年度の定期演奏会】

2011 年 2 月 13 日 創立 10 周年記念第 20 回定期演奏会

会場：アクロス福岡

出演：指揮／延原武春

曲目：W. A. モーツァルト／交響曲 第 36 番 ハ長調 kv425 「リンツ」

F. J. ハイドン／交響曲 第 94 番 ト長調 Hob 1:94 「驚愕」

L. v. ベートーヴェン／交響曲 第 5 番 ハ短調 作品 67 「運命」

コードリベット・コール

1952 年に櫻井吉明氏が結成した大阪のアマチュア合唱団。1971 年の共演以来日本テレマン協会との関係を深め、櫻井氏亡き後、代表の延原武春、テノールの畑儀文が指導・育成に携わってきた。2010 年度はブラームス「ドイツレクイエム」の公演を目指し、延原が本格的に指導。近年大阪フィル、日本フィルなどを指揮し、斬新なロマン派へのアプローチでも話題となっている延原だけに、そこでの発見などを時間をかけて彼らに伝えるという姿は地域を愛する彼の思いを全メンバーに印象付けた。またこの公演における中村勢津子による「アルト・ラブソディー」は、各紙において高い評価を受けた。

【2010 年度の活動】

2010 年 9 月 20 日

会場：ザ・シンフォニーホール

曲目：J. ブラームス／アルト・ラブソディー 作品 53

ドイツレクイエム 作品 45 ほか

大阪府立高津高校弦楽アンサンブル部

2008 年に同校において学校公演を行い、その折に弦楽アンサンブル部と共演。それをきっかけに 2009 年より中山裕一などテレマン室内オーケストラの主要メンバーがボランティアとして指導を続けている。

4：文化的ライフスタイルの提案と実践

4-1 いずみホールエリアの活性化モデルと淀屋橋WESTの情報発信

「演奏会」を町の活性化のきっかけとする、あるいは「演奏会」そのものが人々の生活の中に自然に溶け込んでゆく。その方法を様々な実験を通し、「モデルケース」として公開してゆくことで情報を集め、演奏会が定着・継続しやすい地域社会の在り方を考えてゆくという活動を日本テレマン協会は2006年度から開始している。

2010年度は6月と10月の定期演奏会を素材として、OBPの店舗とODONAの完成によって急激に店舗の増えた淀屋橋WESTの協力のもとで以下のような試みを行った。

- ・演奏会開催一ヶ月前から当日までの期間に、提携店舗を利用した客は精算時に演奏会割引カードをもらう。演奏会場でカードを提示することにより割引価格で演奏会を楽しめる。
- ・提携店舗ではその演奏会の曲目が入ったCDを期間中BGMとして使用（ただし有線放送を利用している店舗もあるのでCD使用は任意）
- ・希望店舗においては演奏会終了後、チケットの半券を提示することでサービスを提供。

この試みの最大の目的を要約すると以下のようなになる。

- ・演奏会は本来チケットを買って会場に行かなければ内容が分からないものであるが、その内容をCDのBGMという形で先に会場周辺にて公開。
- ・多くの店舗で同じ音楽が流れているので、おのずと人々の興味を引き付けるのではないか。
- ・例えば地方の会館にこの試みを用いた場合、それまで文化事業にあまり関心のなかった近隣住民の中に「演奏会は残念ながら今年は行かなかったが、どんな内容をしていたのかは知っている」という層を増やすことが出来るのではないか。
- ・そういった仕掛けが地域の文化へのモチベーションを上げるのならば、まだまだ地方の文化振興に役立つヒントを考えることが出来るのではないか。

コンサートを聴いて、OBPを楽しんでみませんか？

本日ご入場のチケット半券で、
TWIN21の、下記協力店舗でのご飲食・お買い物がおトクに！！
サービス開始：2010年6月21日の終演後からOK！
期間中、下記店舗をご利用の際に、本日の公演チケット半券をお持ち下さい。

※下記の協力店舗以外のお店では、このサービスはご利用いただけません。
※サービス内容は、各店舗により異なります。詳しくは下記の協力店舗一覧をごらんください。
※ご飲食店をご利用の際には、注文時に「半券使用」とお伝え下さい。
※本サービスは、チケット半券との引き換えになります。紛失などお手元がない場合は、ご利用いただけませんのでご了承ください。

《 協力店舗一覧 》

階	店名	業種	サービス内容(注文、精算時に半券提示)	営業時間	有効期限(H22年)
1	菓子子司 綿笠	飲食	とん堀と値引き商品以外15%OFF	9:30~19:00	12月28日まで
1	ペーパリーカフェダイニングバー PRONT	飲食	お会計の10%OFF	7:00~23:00 (L.O.22:30)	12月28日まで
2	ラーメン kumako そんで 熊五郎	飲食	味付煮卵1ヶ サービス	11:00~22:00	12月28日まで
2	ゆであげ生パスタ ポポラマーマ	飲食	ご飲食代10%OFF	11:00~22:00	12月28日まで
2	アイ・ブティック 明光メガネ	ファッション	お買い上げ合計より10%OFF	10:00~20:00	12月28日まで
2	ステーショナリー 文具の三協堂	雑貨	お会計の10%OFF(定価の文具・雑貨に限る)	10:00~20:00	12月28日まで
3	季節天ぷら 勝太郎	飲食	華・特選・極・味・銘の各コースに ワンドリンクサービス	ランチ:11:00-16:00 ディナー:17:00-22:00	12月28日まで
3	ちやいこーず 香港食卓	飲食	香港定食(¥1,350)にデザートサービス (※マンゴープリンorシャーベット)	11:00~22:00	12月28日まで
3	四季めん処 めん坊	飲食	全てのご飲食メニュー、1名様につき100円引き	11:00~22:00	12月28日まで
38	シノワダイニング T's GARDEN	飲食	ご飲食代10%OFF	ランチ:11:00-14:00 ディナー:17:00-22:30	12月28日まで

参加店舗の協力内容をお知らせした会場配布チラシ

4-2 大大阪レトロナイト事業としての活動

「大阪ナイトカルチャー事業」の発展したものとして、大阪商工会議所が大阪市とともに「夜の大阪観光をじっくり楽しんでいただく」ことを目的とした事業。舞台は大阪市に残る近代建築物。他府県からの観光客にもアピールしたものとなっている。日本テレマン協会はマンスリーコンサートの会場である大阪倶楽部を中心に、この事業にも積極的に参加している。

【2010年度の参加公演】

- 2010年 5月14日 大阪倶楽部：第413回マンスリーコンサート
- 2010年 7月13日 大阪倶楽部：第414回マンスリーコンサート
- 2010年 8月10日 大阪倶楽部：第415回マンスリーコンサート
- 2010年 9月10日 大阪倶楽部：第416回マンスリーコンサート
- 2010年 10月22日 大阪倶楽部：第417回マンスリーコンサート
- 2010年 12月 9日 大阪倶楽部：第418回マンスリーコンサート
- 2011年 1月18日 大阪倶楽部：第419回マンスリーコンサート
- 2011年 2月14日 大阪倶楽部：第420回マンスリーコンサート
- 2011年 3月11日 大阪倶楽部：第421回マンスリーコンサート
- 2010年 12月11日 大阪倶楽部：マンスリーコンサートスペシャル第1夜
- 2011年 1月20日 大阪倶楽部：マンスリーコンサートスペシャル第2夜
- 2010年 4月16日 大阪倶楽部：高田泰治 W.A. モーツァルト ピアノ協奏曲大全 vol.1
- 2010年 10月 1日 大阪倶楽部：高田泰治 W.A. モーツァルト ピアノ協奏曲大全 vol.2

大大阪レトロナイト (Vol.62~Vol.73) 2010年10月1日~12月25日

夜の大阪観光を楽しんでいただくために、大阪商工会議所、大阪市、(財)大阪観光コンベンション協会が推進する「大阪ナイトカルチャー」。
この「大大阪レトロナイト」シリーズもそのひとつです。音楽と大正時代の面影を残す近代建築のコラボレーションは、あなたをレトロでロマンチックな世界に誘うことでしょう。

大阪倶楽部	ルポンドシエル	堺筋倶楽部
<p>vol.62 「高田泰治 W.A. モーツァルト ピアノ協奏曲大全 vol.2」</p> <p>日程：2010年10月1日(金) 19:00~</p> <p>内容：今、静かなブームとなりつつある高田泰治。モーツァルト時代の楽譜フォルムで、モーツァルトが実際に用いたサウンドをお楽しみください。</p> <p>出演：フォルテピアノ/高田泰治、指揮/延原武春 演奏(クラシカル楽器使用) アレマ管弦楽団</p> <p>出演：W.A.モーツァルト ピアノ協奏曲 第1番 モーツァルト K.488 ピアノ協奏曲 第11番 モーツァルト K.488 ピアノ協奏曲 第23番 モーツァルト K.488</p> <p>料金：前売3500円、当日4000円 定額：250名(申込み先着順で締切)</p>	<p>vol.63 「シニア野菜ソムリエから学ぶ 美食スタイル」</p> <p>日程：2010年10月6日(水)</p> <p>セミナー 18:30~、食事会 19:00~</p> <p>内容：シニア野菜ソムリエ岡田先生によるアチセセミナーと、伝統野菜をふんだんに使ったフレンチコース料理で、「食」をご提案します。</p> <p>出演：シニア野菜ソムリエ/岡田美穂 料金：8000円(セミナー、仏コース料理、1ドリンク/税/サ込) 定額：50名(申込み先着順で締切)</p>	<p>vol.64 「世界の音楽シリーズ vol.8 "パリのサロン"」</p> <p>日程：2010年10月15日(金)</p> <p>開場 18:30~、開演 19:00~、食事 20:00~</p> <p>内容：今年度200年のサロンが活躍した、19世紀のパリのサロンさながらの、くつろいだ社交の雰囲気をあなみください。</p> <p>出演：ピアノ/高橋佳子 料金：5500円(ピアノスタイル料理、1ドリンク/税/サ込) 定額：40名(申込み先着順で締切)</p>
<p>vol.66 「テレマンvsバッハ part2」</p> <p>日程：2010年10月22日(金) 19:00~</p> <p>内容：東京をはじめドイツでも実力を認められつつある高田泰治。チェンバロではバッハを演奏し、アレマ管弦楽団と演奏します。</p> <p>出演：チェンバロ/高田泰治、フルート/山口千子 ヴァイオリン/浅井咲乃、チェロ/曾田隆 指揮/延原武春</p> <p>出演：J.S.バッハ チェンバロ協奏曲 第2番 J.S.バッハ フルーツ、ヴァイオリン、チェンバロの協奏曲 第1番 G.F.テレマン フルーツ、ヴァイオリン、チェロの協奏曲 第1番</p> <p>料金：3000円 定額：250名(申込み先着順で締切)</p>	<p>vol.67 「和食が3周年 特別コースとピアノ&歌の夕べ」</p> <p>日程：2010年10月30日(土)</p> <p>食事 18:00~19:45、演奏会 20:00~21:00</p> <p>内容：まなご3周年を迎えるさながらの特別コースをお楽しみください。日本の和の心をピアノ&歌でお届けします。</p> <p>出演：ピアノ/中村裕子、ソプラノ/武村愛子 料金：7000円(夕食、和食コース料理、1ドリンク/税/サ込) 定額：30名(申込み先着順で締切)</p>	<p>vol.65 「ソムリエ尾持ヨシヒロの やさしいワイン講座 ~秋の夕べに新発見!国産ワインの数々~」</p> <p>日程：2010年10月29日(金)</p> <p>開場 18:30~ スタート 19:00~</p> <p>内容：今年度のワイン講座は、国産ワインを取り上げます。ヨーロッパのワインにも馴染み深い、やさしいワインや、秋の味をもつて醸された個性派ワインなどを、尾持酒造部員長のフランス料理と合わせてご紹介します。</p> <p>料金：7500円(フレンチコース料理、ワイン4種/税/サ込) 定額：40名(申込み先着順で締切)</p>
<p>vol.71 「重米利加サウンドの系譜 ~U.S.Aが憧れのアメリカだった時代の音~」</p> <p>日程：2010年12月9日(木) 19:00~</p> <p>内容：19~20世紀のアメリカをテーマに、テレマンの音楽の魅力とヴォーカル、コンボを加えたスタンダードJAZZを楽しんでいただきます。</p> <p>出演：指揮/延原武春、ヴォーカル/原田紀子、木海幸 ストリングス K.O.B.E.&シンフォニックテレマン MC/今井由美</p> <p>出演：「予定5分前」北条真、上原アツシ「ザ・フレンズ」 「ザ・フレンズ」、「ザ・フレンズ」、「ザ・フレンズ」 JAZZ「月に似て」、「I'll Be Home For Christmas」</p> <p>料金：前売3500円、当日4000円 定額：250名(申込み先着順で締切)</p>	<p>vol.68 「インナービューティ& ボジョレーワイン 美味ロケーション」</p> <p>日程：2010年11月18日(木)</p> <p>セミナー 18:30~、食事会 19:00~</p> <p>内容：新編と厳選されたボジョレーワインに、野菜をふんだんに使ったインナービューティコース料理で、内側からの美をご提案します。</p> <p>出演：シニア野菜ソムリエ/岡田美穂 料金：12000円(セミナー、特別コース料理、ワイン/税/サ込) 定額：40名(申込み先着順で締切)</p>	<p>vol.69 「2010 新酒収穫祭と フラメンコを楽しむ夕べ」</p> <p>日程：2010年11月19日(金)</p> <p>開場 18:30~</p> <p>内容：毎年大好評の10種類の最新ワインの飲み放題の席に、スペインのフラメンコを演奏する。今年度のワールドカップサッカーの優勝国でもあるスペインの最新ワインの飲み放題を、情熱のフラメンコと共に楽しめます。</p> <p>出演：フラメンコ/山本成子 料金：6500円(ニューフェイス料理、10種の最新ワイン/税/サ込) 定額：40名(申込み先着順で締切)</p>
<p>Access</p> <p>ルポンドシエル：〒545-0052 大阪市中央区北浜東6-9 堺筋倶楽部：〒545-0052 大阪市中央区南船場1-15-12</p>	<p>vol.72 「クリスマスディナー& ジャズで聴くクリスマスナイト」</p> <p>日程：2010年12月23日(木)・25日(土)</p> <p>食事スタート 18:00~19:30(前にお越し下さい) 19:30まで(入席)、演奏時間 19:30~19:50/20:00~20:30</p> <p>内容：レトロモダンな空間で大人のジャズトリオのライブで聴くクリスマスディナー、フレンチクリスマスディナーと共にお楽しみください。</p> <p>出演：ヴァイオリン/野々原玲子、ギター/中村太一、ベース/五藤哲生 料金：15000円(クリスマス特別コース料理、ライブ/税/サ込) 定額：50名(申込み先着順で締切)</p>	<p>崎山ビル OPIUM</p> <p>大阪市西区難本町1-6-2 〒545-0052 大阪市西区難本町1-6-2 申込み/問い合わせ イタリア料理OPIUM(オピウム) TEL: 06-6447-1044</p>
<p>vol.73 「クリスマスディナー& ジャズシンガーが唄う大人のクリスマス」</p> <p>日程：2010年12月24日(金)</p> <p>食事スタート 18:00~19:30(前にお越し下さい) 19:30まで(入席)、演奏時間 19:30~19:50/20:00~20:30</p> <p>内容：ジャズシンガーをゲストに迎えてお届けする、ロマンチックなクリスマスディナー、フレンチクリスマスディナーと共にお楽しみください。</p> <p>出演：ジャズシンガー/西田あつこ、ヴァイオリン/野々原玲子、ギター/中村太一、ベース/五藤哲生 料金：15000円(クリスマス特別コース料理、ライブ/税/サ込) 定額：50名(申込み先着順で締切)</p>	<p>vol.70 「Il concerto invernale ~冬のコンサート」</p> <p>日程：2010年12月2日(木) 18:30~21:30</p> <p>演奏時間30分ステージを2ステージ</p> <p>内容：フルートとピアノの音色を繊細なソプラノの歌声とともにお届けします。静寂の夜に響き渡る音色や歌声は、心の中に沁み込ませたい。感動を分かち合ってください。</p> <p>出演：ソプラノ/北条真、フルート/島名明子、ピアノ/杉山真美子 料金：8500円(イタリアンコース料理、ライブ/税/サ込) 定額：24名(申込み先着順で締切)</p>	

http://www.osaka-nightculture.com http://www.osaka-asobo.jp

大阪ナイトカルチャー 大阪夜生活 大阪倶楽部

文化的ライフスタイルの提案と実践

4-3 海外アーティストの紹介

日本テレマン協会はこれまで主にテレマン室内オーケストラのメンバーの質の向上を目的として、定期的に海外より演奏家を招聘してきた。そこから様々な人間関係を形成することができ、現在ではヨーロッパの音楽的情勢も把握することが出来るようになってきている。

そんな中で延原武春・高田泰治が注目しているのがドイツにおける古楽活動だ。作曲当時の楽器を使う「古楽」は1970年代後半にオランダ・ベルギーおよびイギリス、日本等で始まった芸術運動だった。日本はその先進国ではあったのだが、国内ではその魅力を完全に浸透させられないまま停滞傾向に陥りつつある。2000年代に入りドイツがこの運動に参加することで「古楽」は大きな転換点を迎え、「当時はこちらだった」という時代考証的な視点から、「この『素材』を使って何を表現するべきなのか」という芸術的領域に深く入りこむことが出来つつある。その傾向を日本の古楽の先駆者はなかなか認めようとしませんが、そこには日本の文化振興と文化的国際競争力の向上を可能にする大きなエッセンスが潜んでいると延原・高田は考えている。

そこでドイツの古楽奏者を招聘し、その魅力を懐の広い関西の聴衆に共有してもらい、新たな芸術運動と興味を喚起できる「創造の場」を大阪に生み出したいと計画。バロックヴァイオリンのウツラ・ブンディースを招聘し、ヴァイオリン協奏曲などの公演を披露。またクリスティーネ・ショルンスハイムを大阪に招き、ほとんど公演されることのないJ. S. バッハ「平均律クラヴィーア曲集 第1・2巻」全曲を公演。

営利目的を度外視し、これらの公演を敢行した目的は、「聴衆とともに地域の音と趣味を創造する」という、発足以来日本テレマン協会が掲げてきた原義に忠実でありたいと考えたことにある。今後もこの活動は継続してゆく予定である。

【2010年度の公演】

〈ウツラ・ブンディース〉

2010年 8月10日 大阪倶楽部：415回マンスリーコンサート

〈クリスティーネ・ショルンスハイム〉

2010年12月11日 マンスリーコンサートスペシャル第1夜

2011年 1月20日 マンスリーコンサートスペシャル第2夜

4-4 アバンザ・ランチタイムコンサート

巨大な書店などでも利用者の多い堂島アバンザ。このオフィスビルのエントランスではかつてから演奏会を定期的に行ってきた。その目的は「アバンザの文化的空間をもっと楽しんでもらいたい」ということであったが、従来の公演の「受け手」に諸事情があり、継続が難しくなったとのこと。そこで「ご近所」という間柄から日本テレマン協会が積極的に企画に参加し、2011年度からはプロデュースを本格的に担当することになった。

その前哨戦にあたる2010年にも3度の公演を企画・実施。その最初となった公演で延原は「街角での音づくりは日本においてもなかなかコンセプトがはっきりしない分野だと言える。この機会を通してステージと変わらないこだわりの音を届けてみたい」と意欲を示し、本来であれば新人・小規模…という内容で行われがちなストリートコンサートでは破格の内容＝ヴィヴァルディ「四季」全曲を公演。またたく間に聴衆が集まり、大きな盛り上がりを見せた。

この「四季」全曲を年一度の「名物」とし、今後もこのエリアからランチタイムでありながら、本格的な「音」を発信する…ということで、大阪ならではの「日常」を創造したいと考えている。

【2010年度の公演】

2010年 10月 6日 堂島アバンザ1F エントランスホール：第66回アバンザランチタイムコンサート

2010年 12月 22日 堂島アバンザ1F エントランスホール：第67回アバンザランチタイムコンサート

2011年 2月 18日 堂島アバンザ1F エントランスホール：第68回アバンザランチタイムコンサート

5：チャリティー協力

日本テレマン協会とチャリティー

日本テレマン協会はこれまで阪神大震災やニューオーリンズのハリケーン、JR福知山線脱線事故メモリアルコンサートのほか様々な災害へのチャリティーコンサート活動を続けてきた。クラシック音楽のコンサートに対する社会の受け入れ方が年々変化しつつある中で、人と人とをつなぐ場であるという理念を協会としては今後も大切にしたい。そういった意味で「チャリティーコンサート」への参加を積極的にすすめてゆく考えである。

2010年度のチャリティーコンサートおよび募金活動への参加は以下の通りである。

- 1：東日本大震災への義援金（「ボルネオの環境保全活動」を変更。1-2 参照）
- 2：マンスリーコンサートにおけるユニセフ募金活動への協力
- 3：JVC国際ボランティアセンターの主催による連続公演

※JVC 国際協力コンサートとは

日本国際ボランティアセンター（JVC）の活動を応援するためのベネフィットコンサート。コンサートの収益はJVCに寄付される。実行委員長アイネス・M・バスカビルの「美しい楽曲『メサイア』で、JVCのためのチャリティーコンサートを開きたい」という呼びかけに対しボランティアが集まり、1989年「JVCコンサート実行委員会」が発足。以来東京では18回、大阪でも13回の公演が催されてきた。日本テレマン協会は1994年よりこのコンサートに参加。2010年は昨年に引き続き東京・大阪両公演に出演した。

【2010年度のJVC国際協力コンサート】

12月4日 第17回大阪公演 バッハ『クリスマス・オラトリオ』

会場：いずみホール

共演合唱団：コードリベット・コール

12月11日 第22回東京公演 ヘンデル『メサイア』

会場：昭和女子大学人見記念講堂

共演合唱団：JVC合唱団

JVC 日本国際ボランティアセンター

JVC 国際協力コンサート 2010
第17回大阪公演
The 2010 Japan International Volunteer Center (JVC)
Seventeenth Osaka Benefit Concert

Christmas Oratorio

クリスマス・オラトリオ

J.S. バッハ
Johann Sebastian Bach
Weihnachts-Oratorium BWV248

Buy a Ticket!
Rally the World!!

指揮：ポール・ホルツニック
Conductor: Paul Holznicke
(ニューハンプシャー音楽院 音楽監督)

合唱
コードリベット・コール
Choir: Quodlibet Choir
合唱指揮：榎 儀文
Chorus Master: Yoshitami Hata

管弦楽
テレマン室内オーケストラ
Orchestra: Telemann Chamber Orchestra

ソプラノ/Soprano
ブリッセル・ジョンストン
Blissa Johnson

アルト/Alto
アリアドネ・マクレディ
Ariadna Macleod

テノール/Tenor
パブロ・コラ
Pablo Cora

バス/Bass
ケネス・ケロック
Kenneth Kellogg

12/4 (土)
3:30p.m. 開場 Doors open
4:00p.m. 開演 Curtain rise
いずみホール Izumi Hall

【全席指定】 Reserved Seats Only
S ¥10,000
A ¥5,000
B ¥4,000

お問合わせ For information
JVCコンサート事務局 JVC Concert Office
TEL: 03-3836-4108
E-mail: concert@ngo-jvc.net
URL: http://www.ngo-jvc.net/concert/

チケット窓口 Ticket Office
●JVCコンサート事務局 JVC Concert Office TEL: 03-3836-4108
●コードリベット・コール (協賛) Quodlibet Choir (Ms.Sebue) TEL: 078-441-3828
●いずみホールチケットセンター Izumi Hall TEL: 06-6944-1188
●チケットぴあ Ticket Pia TEL: 0570-02-9999 (Pコード110-726)
●ローソンチケット Lawson Ticket TEL: 0570-000-407 (Lコード56200)

2010 年度版 日本テレマン協会 社会的活動報告

発行 日本テレマン協会

〒530-0002

大阪市北区曾根崎新地2-1-17

電話 06-6345-1046

FAX 06-6345-1045

E-MAIL : tij@cafe-telemann.com

URL : <http://www.telemann.ws/>